

平成26年12月 当院は生まれ変わります！

新病院への道 第4回

「新病院への道」を特集でお送りしています。新病院の概要や機能、建設状況を毎回お知らせしていきます。



平成26年6月1日
年内の新病院オープンに向けて工事も順調に進んでいる様子です。期待に胸が高鳴ります。

新病院の特徴 第3弾

⑦ 高度医療機器の導入

最新の医療機器を導入し、各診療分野の専門医が迅速で精度の高い診断を行います。
(15T MRI装置・80列CT装置・血管造影装置 等)

⑧ 救急医療の強化充実

医師の夜間診療体制を強化し、引き続き365日24時間対応の救急医療を提供します。
併せて時間外のコメディカル体制を強化し、質の高い救急医療の提供に努めます。

⑨ 地域の医療機関に信頼され、選ばれる病院

総合病院・救急病院として、地域の開業医の先生と連携を密にし、紹介患者さまの受入に迅速かつ丁寧にお応えします。そして患者さまの病態が落ち着いた時点で、かかりつけの開業医の先生に経過観察をお願いさせていただき、地域で包括した医療の提供に努めます。

住 所：東京都板橋区高島平1-73-1 高 さ：38.61m(最高:47.01m)地上10階/地下1階
建築面積：1629.43㎡ 着 工：平成24年11月
延床面積：11646.37㎡ 竣 工：平成26年11月

外来受付時間

	受付時間	内 科	外 科	消化器科	整形外科	眼 科
午前	8：30～12：30	○※1	○	○	○※2	○
午後	14：00～17：00	○	○	○	○	○
夜間	17：30～19：00	○	○	○	○	

	受付時間	耳鼻咽喉科	泌尿器科	小児科	皮膚科・形成外科	脳神経外科
午前	8：30～12：30	○※3	○	○	○※6	○※9
午後	14：00～17：00	○※4	○※5	○	○※7	○※10
夜間	17：30～19：00			○	○※8	

＜備 考＞

※ 1 水曜日の糖尿病専門外来の診察時間は9：30～12：30	※ 7 月・金曜日のみ
※ 2 火曜日の午前の受付は11：30まで	※ 8 火曜日の診察は行っておりません。
※ 3 初診受付12：00まで	※ 9 月・水・金曜日のみ
※ 4 初診受付16：30まで	※ 10 月・金曜日のみ 月曜日の診察時間は14：30～17：00
※ 5 水曜日は手術予定次第で休診	※ 土曜日は午前中の外来のみ行っております。
※ 6 月・水・木・金曜日のみ	※ 時間変更や休診等がございますので、お電話でご確認のうえ、ご来院ください。

－ 病 院 理 念 － 心の通う、温もりのある医療

－ 基 本 方 針 －

- ・患者様に公平で安全かつ良質な医療を提供できるよう研修、研鑽します。
- ・医師による説明と患者様の意思を尊重し、選択に基づく納得のいく医療を推進します。
- ・地域の救急病院として、常に最善を尽くし適切な医療を提供します。

“さくらんぼ” 高島平中央総合病院
Vol.11 2014.5

発行／高島平中央総合病院 地域医療連携室
発行日／2014年5月
〒175-0082 東京都板橋区高島平1-69-8
医療法人社団 明芳会 高島平中央総合病院
TEL.03-3936-7451（代表）
<http://www.ims.gr.jp/takashimadaira-hosp/>



「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気になる情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

* 医 局 長 ご 挨拶 *

地域密着の医療、心の通う、温もりのある医療を提供し、患者様に当院を選んでいただくために、私たちは常に進化し続ける病院づくりに取り組んで参ります。

地域の中核病院としての役割と使命

板橋区高島平地域は急速に高齢化が進んでおります。高齢化の影響もあって救急搬送件数は年々、増加傾向にあるそうです。救急医療に更に力を尽くすべく、平成26年の秋の開院を目指し、新病院の建設を行っております。既存の病院建物は老朽化が目立ち、日々進化する医療へ対応するため、230床のベッドを有する病院へ生まれ変わろうとしています。

新病院では関節・脊椎センター、消化器センター、脳神経センターの3つのセンターを軸に24時間365日の診療体制を目指し現在よりも充実した医療の提供を推進して参ります。

地域の中核病院として私どもは常日頃から地域住民の方はもちろんの事、近隣の医療機関の先生方のお困りの時にお役に立ちたいと考えております。疑い病名の確定診断、急性増悪疾患、重症患者様の緊急入院など、ありとあらゆる状況下に対応できてこそ、“信頼される病院”と評価されると、私はじめ、スタッフ全員がそう思っています。しかし、時に当院の診療機能では対応できない患者様もおりますので、その際は、IMS（イムス）グループの一員である強みを活かしグループ病院をご提案させていただく場合もございます。

先に述べました通り、高齢化は急速に進んでおり、当院だけでは患者様のケア・サポートを行う事にも限界があります。高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的とし、可能な限り住み慣れた地域で、患者様それぞれが自分らしい暮らしを続けることができる様、そのために地域全体での支援・サービスの提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を積極的に取り組んで参ります。

愛し愛される高島平中央総合病院であり続けるために病院スタッフ全員が精一杯、努力をしていく所存でございます。今後とも皆様方の変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



医局長・泌尿器科部長
小松 秀樹



新任医師のご紹介



整形外科（スポーツ整形）
もとしま さやか
元島 清香 先生

ごあいさつ／
水泳競技を中心にトップアスリートのサポートを行っています。スポーツ活動を長く継続できる手助けとなるような治療を目指してまいります。
異常を感じたら早めの対応が大切です。お気軽にご相談下さい。

出身大学／日本大学（平成9年卒）
資格・認定医／医学博士
日本整形外科学会専門医
日本体育協会公認スポーツドクター
日本整形外科学会認定スポーツ医
所属学会／日本整形外科学会
日本整形外科スポーツ医学会
日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会
日本臨床スポーツ医学会
日本公衆衛生学会



整形外科（脊椎外科）
いわもと なおゆき
岩本 直之 先生

ごあいさつ／
腰痛・関節痛・外傷など整形外科全般に対応いたします。患者さんに優しい診療を心掛けておりますので、何でもお気軽にご相談ください。

出身大学／金沢大学（平成16年卒）
職 歴／横浜国立大学病院
資格・認定医／日本整形外科学会専門医



呼吸器内科
まえはら こうじろう
前原 光治郎 先生

ごあいさつ／
4月1日付で赴任しました前原です。宜しくお願いします。
いままでは呼吸器疾患全般の診療、特に肺癌やCOPDの患者様の治療にあたってきました。呼吸器の症状でお困りのことがございましたら、ご相談ください。宜しくお願いいたします。

出身大学／東京慈恵会医科大学（平成10年卒）
職 歴／東京慈恵会医科大学付属病院
東大宮総合病院
小張総合病院
総合東京病院
資格・認定医／日本内科学会認定医
日本呼吸器ケア・リハビリテーション学会
呼吸器ケア指導士・認定医
ICD
日本医師会認定産業医



糖尿病・内分泌・代謝内科
おおはし たくや
大橋 琢也 先生

ごあいさつ／
糖尿病・内分泌・代謝内科の大橋琢也と申します。
糖尿病・内分泌・代謝内科は聞き慣れない科かもしれませんが、糖尿病、脂質異常症、痛風、高血圧、メタボリックシンドロームなどの生活習慣病や甲状腺をはじめとするホルモンの病気を専門にしています。
糖尿病は今や国民病といつていいほど増加傾向にあります。糖尿病とよりよくつき合うためには患者さんがご自身でよく理解し、納得して療養に取り組むことが極意です。そのためのお手伝いをさせていただければと思っております。
地域の皆様に質の高い、安心できる医療を提供することをこころがけております。生活習慣病やホルモンの病気でお困りのことがございましたら、是非御相談ください。

出身大学／秋田大学（平成17年卒）
職 歴／東京都立多摩総合医療センター内科
東京医科歯科大学医学部附属病院
糖尿病・内分泌・代謝内科
資格・認定医／日本糖尿病学会糖尿病専門医
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医



外科・消化器科
やまだ ひでき
山田 英樹 先生

ごあいさつ／
私はこれまで消化器・一般外科、なかでも大腸肛門疾患を中心に診療してきました。近年、わが国では大腸疾患と炎症性腸疾患が年々増加してきており、そのような患者さまに内視鏡治療、手術、そして傷が小さく痛みの少ない低侵襲の腹腔鏡手術にも積極的に取り組んで参りました。
個々の患者さまの病状、生活環境などを総合的に判断して、治療することを目指しています。
小腸・大腸・肛門疾患でお悩みの際はご相談ください。

出身大学／帝京大学（平成12年卒）
職 歴／帝京大学医学部附属病院
東京都健康長寿医療センター
資格・認定医／日本外科学会認定医・専門医
日本大腸肛門病学会専門医
日本消化管学会認定医・暫定専門医・暫定指導医



形成外科／皮膚科
とどころ たけし
戸所 健 先生

ごあいさつ／
これまで、リンパ浮腫の外科的治療を主として、褥瘡や糖尿病性足壊疽などの難治性潰瘍、外傷全般などを診療してまいりました。
“形成外科”は、あまり聞き慣れない科ですが、見た目でわかる（＝表面的な）トラブル全般を扱っております。
皮膚・爪のトラブルや各種できもの、眼瞼下垂など、お困りのことがありましたらお気軽に御相談ください。どうぞよろしくお願い致します。

出身大学／東京大学（平成18年卒）
職 歴／東京大学医学部附属病院
杏林大学医学部附属病院
国保旭中央病院
名戸ヶ谷病院
資格・認定医／形成外科学会専門医
臨床研修指導医

お腹は切らずに治ります 胃・大腸の早期癌は内視鏡で切除します —— ESD治療のご案内 ——

日本における死因の第1位は「がん」であり、全死亡原因の約3割を占めます。男性では「胃がん」が2位、「大腸がん」が3位、女性では「大腸がん」が1位、「胃がん」が3位となっています。

一方で、これらの消化管の癌は、早期発見・治療により比較的高い確率で治癒することが知られております。ただ早期の消化管の癌は、ほとんどが無症状なので、自覚症状が無くても積極的に検査を受けることが重要です。

癌は進行の度合いによって「早期癌」と「進行癌」に分けられます。近年、早期癌に対する内視鏡治療が発達し、

従来の外科的な開腹手術・腹腔鏡手術に代わる新しい治療法として注目されているのがESD（Endoscopic Submucosal Dissection：内視鏡的粘膜下層剥離術）です。

手術といえば、「お腹を切らなければいけない」といったイメージがあるかもしれませんが、内視鏡手術の場合、お腹を切る必要がありません。直径十数ミリの内視鏡を口もしくは肛門から入れて、内視鏡の先端から出した電気メスで癌を切り剥がします。そのため術後にお腹に傷跡が残るといったことはありませんし、当然、開腹手術・腹腔鏡手術よりも体への負担は少なく済みます。

ESDの適応となるのは、癌細胞が胃もしくは大腸の表面の浅いところにとどまっていたり、深部浸潤（癌細胞が奥深くまでもぐり込んで拡がること）や転移をしていないと考えられる早期癌です。ただし、早期癌であってもESDの適応とならない場合もありますので、当院消化器科にてご相談ください。

ESDは熟練した医師でなければ行えないため、ESDを行っている病院は板橋区内でも数多くはありません。

内視鏡検査が必要であると言われ、当院での検査をご希望の方は消化器科外来をご受診ください。

消化器科 伊藤 裕志

